



2020年8月3日

各位

会社名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 井阪 隆一
(コード番号 3382 東証第一部)
問合せ先 取締役 常務執行役員 伊藤 順朗
(TEL. 03-6238-3000)

当社子会社による米国 Marathon Petroleum Corporation からの コンビニエンスストア事業等に関する株式その他持分取得についてのお知らせ

当社は、当社の連結子会社である 7-Eleven, Inc.(本社所在地：米国テキサス州、President and CEO : Joseph M. DePinto)が、米国 Marathon Petroleum Corporation (以下、「MPC 社」といいます。)との間で、同社が主に Speedway ブランドにて運営するコンビニエンスストア事業及び燃料小売事業(但し、MPC 社の小売部門のうちダイレクト・ディーラーに対する燃料小売事業等を除きます。)を運営する複数の会社の株式その他の持分を取得する契約(以下、「本件取引」といいます。)を締結することを取締役会にて決定し、本日、7-Eleven, Inc.が本件取引にかかる契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本件取引の目的

当社は、「共存共栄」の精神に基づき、株主やお客様をはじめとする全てのステークホルダーに最善の価値を提供するべく絶えず成長機会を追求すると共に、グループ成長戦略として海外コンビニエンスストア事業、首都圏食品戦略、環境宣言及びデジタル戦略の四分野を掲げてきております。特に、堅調な経済成長が予想される北米市場での 7-Eleven, Inc.を中心とするコンビニエンスストア事業をグループ全体の重要な成長ドライバーと位置付けており、これまでも買収の効果的活用、店舗網の拡大、サプライチェーンの最適化などを積極的に進めてきました。

2020年3月末現在、当社の北米事業及びグループ全体のグローバル展開を牽引する 7-Eleven, Inc.は、9,802 店舗を運営しており、成長戦略「シックス・ポイント・プラン」の下に、①一貫した顧客体験の提供、②新しい食体験の提案、③サプライチェーンの最適化、④デジタル戦略の促進、⑤店舗の近代化、⑥店舗網の拡大を重点施策と位置付け、更なる商品力の強化と店舗網の拡充による収益拡大を進めてきております。一方、MPC 社は主に Speedway ブランドにて、米国において約 3,900 店(2019年12月末時点)の高品質かつ比較的規模の大きいコンビニエンスストア兼ガソリンスタンドを運営しており、7-Eleven, Inc.の店舗とも地域的補完性が非常に高くなっております。

本件取引を実施することにより、以下の目的を達成することを企図しています。

(1) 店舗ネットワークの戦略的拡充

当社は、北米市場においては未だ主要プレイヤーによるシェア獲得が進んでいないことから、同市場での店舗ネットワークの拡大が 7-Eleven, Inc.の中長期的な成長を下支えするエンジンとなると考え、これまでも有望な投資機会を検討してきました。本件取引によって、7-Eleven, Inc.は米国の人口の多い 50 の都心部のうち 47 の地域に店舗網を保有し、成長ポテンシャルの大きい北米コンビニエンスストア市場において明確に業界リーダーとしての地位を確立することとなります。また、当社事業ポートフォリオにおける北米コンビニエンスストア事業の拡大によって、グループの経営資源を成長戦略の柱であるコンビニエンスストア事業により集中させることで、グループ全体の長期的な成長をさらに加速させることができると確信しております。そして、これまで培った強力な 7-Eleven ブランドと Speedway の盤石なブランドが組み合わせることで、スケールメリットが加わり、さらに、7-Eleven, Inc.が培ってきた商品力や事業の運営ノウハウを活かして商品販売の増加・商品荒利の改善を図りながら、コスト低減や顧客基盤の強化が可能になり、新たなイノベーションを生み、より大きな企業価値の向上が実現できると見込んでおります。

(2) 財務上の効果

当社は、財務の柔軟性と堅固なバランスシートを維持しながら、本取引による大きなシナジーを見込んでおり、本取引の完了後3事業年度末までに約475～575百万米ドル程度(ランレートベース)の統合効果を発揮すること、及び米国における税制優遇措置により、本取引の完了後15事業年度の終了時までの間に合計約3,000百万米ドル(正味現在価値)の節税メリットを見込んでおります。加えて、7-Eleven, Inc.が本取引により取得する店舗に関するセール・アンド・リースバック取引の活用により投資効率の更なる効率化を図る予定です。また、今回の買収で、米国における当社グループ事業のEBITDA・営業利益はともに2019年度の7-Eleven, Inc.の2倍以上になる見込みです。

(3) ESG分野におけるリーダーシップ

7-Eleven, Inc.を含む当社グループは、日本を代表するグローバルリテイラーとして、2019年5月に環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を公表し、『CO2排出量削減』『プラスチック対策』『食品ロス・食品リサイクル対策』『持続可能な調達』の4つのテーマにおいて、2030年という近い将来、そして2050年という次世代社会における当社グループの使命と責務について、具体的な目標値を設定しています。7-Eleven, Inc.を含む当社グループは、ESG分野においても、世界の小売業界を牽引するリーダーとして、本取引以降もこのコミットメントを維持していくことはもちろん、拡大したネットワークとプレゼンスを梃子に、北米市場におけるESG分野の取組をより一層加速していきます。

7-Eleven, Inc.では、本取引を契機に、新たに傘下に入る店舗も含め、CO2排出量の削減、環境配慮型パッケージ及び持続可能な食品供給の活用、プラスチック対策の推進について、2027年までの新たな達成目標を設定し、長期的な企業価値を高めていくことを目指します。

なお、取得する店舗につきましては、今後15年間においてMPC社より燃料の供給を受ける契約を締結する予定であります。

2. 本取引の内容

I. 本取引の概要

対象事業に関する売買契約の概要は次のとおりです。なお、株式その他持分の取得は、米国競争法にかかる手続の完了など、取引実行のための前提条件が満たされることを条件としております。

(1) 契約当事者	売主：MPC社の小売事業会社等5社 買主：7-Eleven, Inc.
(2) 対象株式その他持分	MPC社が保有する、米国における、主に「Speedway」ブランドで運営されるコンビニエンスストア事業及び燃料小売事業(ダイレクト・ディーラー向け事業等を除きます。)を構成する複数の会社(以下「対象会社」といいます。)の株式その他持分 売主側で、本取引実行までに、対象会社にコンビニエンスストア事業及び燃料小売事業(ダイレクト・ディーラー向け事業等を除きます。)を集約させることが予定されています。
(3) 取得価額	21,000百万米ドル (2,217,600百万円*) 取得価額は、クロージング時点での現預金・借入金の残高や運転資金の増減により調整されます。

II. 対象事業の概要

本取引の取得対象事業は24社(100%子会社でないものを含みます。)から構成されますが、取得対象企業について、個社毎の財務状況を正確に開示できないため、企業概要については、代表的な企業1社についてのみ記載いたします。

(1) 名称	Speedway LLC
(2) 本社所在地	米国オハイオ州
(3) 代表者	President, Timothy T. Griffith

(4) 事業内容	コンビニエンスストア事業及び燃料小売事業の運営	
(5) 資本金	該当なし	
(6) 設立年月日	1997年7月18日	
(7) 大株主及び 持ち株比率	MPC Investment LLC (100%)	
(8) 上場会社と 当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません

III. 対象事業の経営成績及び財政状況 (単位：百万米ドル)

	2017年12月期実績	2018年12月期実績	2019年12月期実績
(1) 純資産	—(※)	6,722	7,085
(2) 総資産	—(※)	10,524	11,203
(3) 商品売上高	5,170	5,231	6,284
(4) 燃料売上高	13,866	16,715	20,273
(5) 営業利益(EBIT)	667	747	960

(※) 当該情報は未入手となります。

IV. 事業取得の相手先の概要

(1) 名称	Marathon Petroleum Corporation	
(2) 本社所在地	米国オハイオ州	
(3) 代表者	President and CEO, Michael J. Hennigan	
(4) 事業内容	石油の精製・輸送・小売事業及びコンビニエンスストア事業の運営	
(5) 資本金	649.5 百万米ドル (68,587 百万円*)	
(6) 設立年月日	2009年11月9日	
(7) 純資産	42,139 百万米ドル (4,449,878 百万円*)	
(8) 総資産	98,556 百万米ドル (10,407,513 百万円*)	
(9) 大株主及び 持ち株比率	BlackRock, Inc. (10.7%)	
(10) 上場会社と 当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません
--	-----------------	------------

V. 株式その他持分を取得する子会社の概要

(1) 名称	7-Eleven, Inc.
(2) 本社所在地	米国テキサス州
(3) 代表者	President and CEO, Joseph M. DePinto
(4) 事業内容	コンビニエンスストア事業の運営
(5) 資本金	13 千米ドル (1.3 百万円*)
(6) 設立年月	1999 年 5 月
(7) 純資産	7,323 百万米ドル (773,308 百万円*)
(8) 総資産	14,502 百万米ドル (1,531,411 百万円*)

*1 米ドル=105.60 円で換算(2020 年 7 月 31 日現在)。I (3)記載の取得価額を除き、数値は 2019 年 12 月末現在

3. 主な日程

(1) 契約締結日	2020 年 8 月 3 日
(2) 取得日(予定)	2021 年第一四半期

株式その他持分の取得は、米国競争法にかかる手続の完了など、取引実行のための前提条件が満たされることを条件としております。

4. ファイナンス・プラン

本件取引に必要な資金は、当社及び 7-Eleven, Inc.において、ブリッジローンをはじめ、コスト・通貨・年限を勘案し、負債調達する予定です(一部手元現預金を用いる可能性もあります。)。本件取引において、一時的に Debt/EBITDA 倍率は上昇し、自己資本比率等の財務指標は低下する見込みです。

本件取引成立後は、キャッシュフロー創出力の向上が見込まれることから、連結ベースでのフリーキャッシュフローについては、債務返済資金として活用していく方針であり、結果 2 年後には Debt/EBITDA 倍率を 3 倍以内に抑制していくことにより、格付 A 格相当の財務体質を目指しております。

具体的な資金調達手法におきましては、決定次第速やかにお知らせいたします。なお、現時点において、当社において、新株発行を伴う資金調達(エクイティファイナンス)については、予定しておりません。

5. 今後の見通し

本件取引による当社の 2021 年 2 月期連結業績への影響は軽微であります、中長期的に当社業績の向上に資するものであります。

なお、当社が本プレスリリースで開示する情報の中には、将来の見通しに関する事項が含まれる場合があります。この事項については、開示時点において当社が入手している情報による経営陣の判断に基づくほか、将来の予測を行うために一定の前提を用いており、様々なリスクや不確実性・不確実性を含んでおります。したがって、現実の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の様々な要因により、開示情報に含まれる将来の見通しとは異なる可能性があります。

以 上



7-Eleven, Inc.によるSpeedway取得

2020年8月3日

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.



TODAY'S

AGENDA

1

7-Eleven, Inc.の成長機会

2

Speedway取得

3

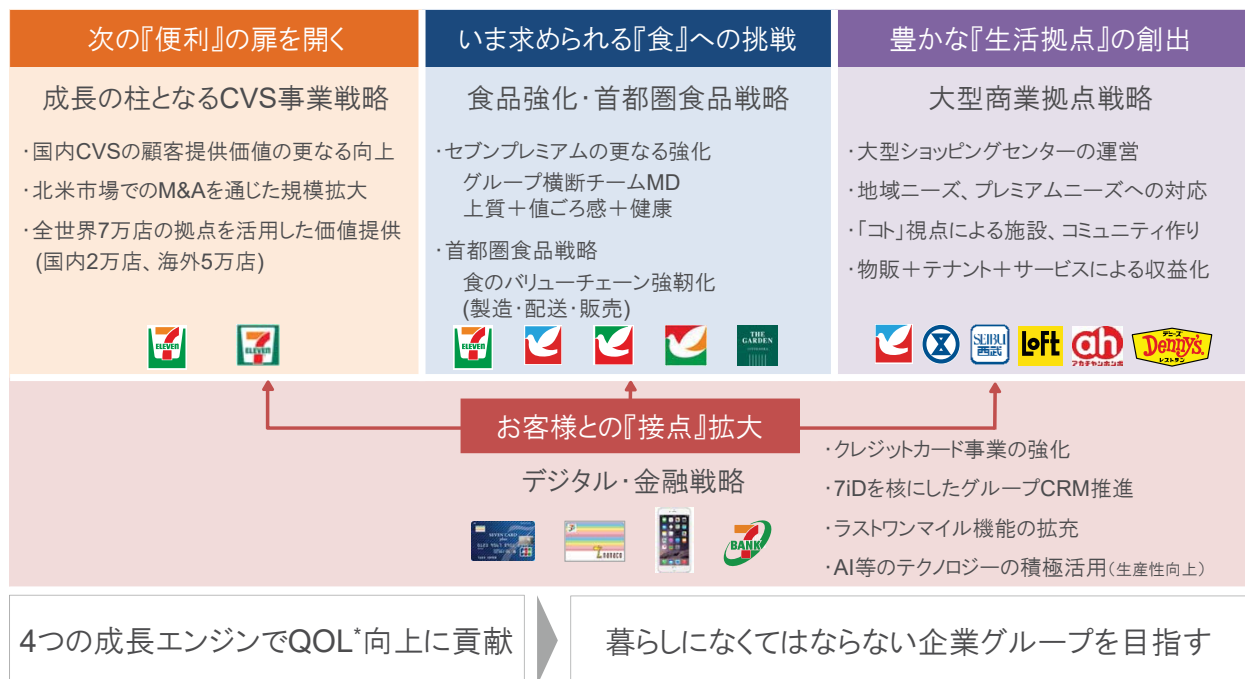
ESG対応

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

TODAY'S
AGENDA



グループ戦略概要 (2020年2月期決算プレゼン再掲)

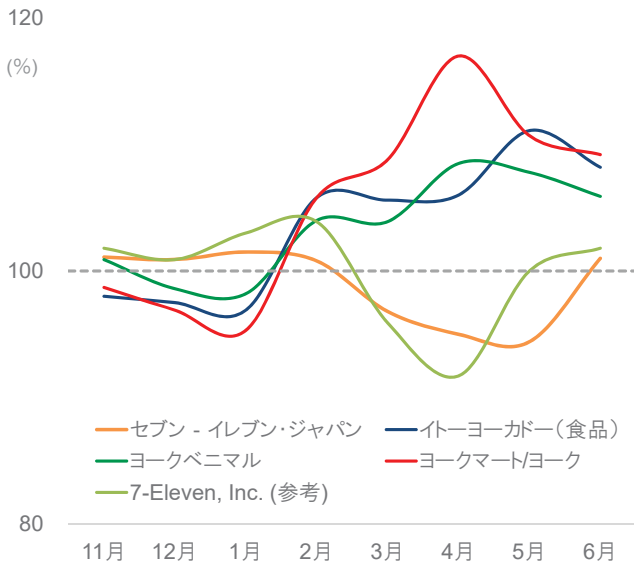


*QOL: Quality of Life

グループ戦略 ～日本国内の動向～



既存店売上前年比推移



COVID-19による価値観の変化

安全・安心・健康	ソーシャル ディスタンス
テイクアウト・宅配	内食・家呑み志向
小商圏化	ESG・ サステナビリティ

グループ国内売上の約60%が「食」

エッセンシャル・ビジネスとしての存在意義

6月(株)ヨーク設立 ⇒ 首都圏食品戦略推進

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

グループ戦略概要 (2020年2月期決算プレゼン再掲)



*QOL: Quality of Life

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

7-Eleven, Inc. (SEI) 概要

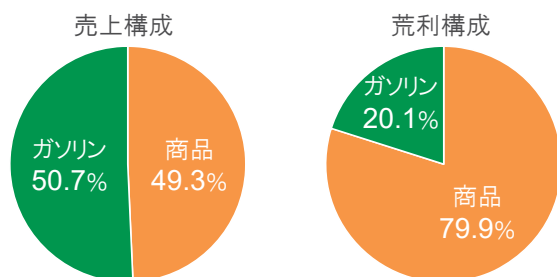


- アメリカとカナダで約9,800店を展開する、全米最大のコンビニエンスストアチェーン
- 運営形態:
 - ー 直営店: 24%
 - ー フランチャイズ: 76%
 - Cタイプ: 70%
 - Aタイプ(BCP): 6%
- 店舗面積は約2,400~3,000平方フィート
- 視認性・接近性のいい角地への出店
- オリジナル商品の売上構成比: 約22%
(高荒利のフレッシュフード、カウンター飲料、プライベートブランド等)
- 2005年11月9日、完全子会社化



Source: Company information.

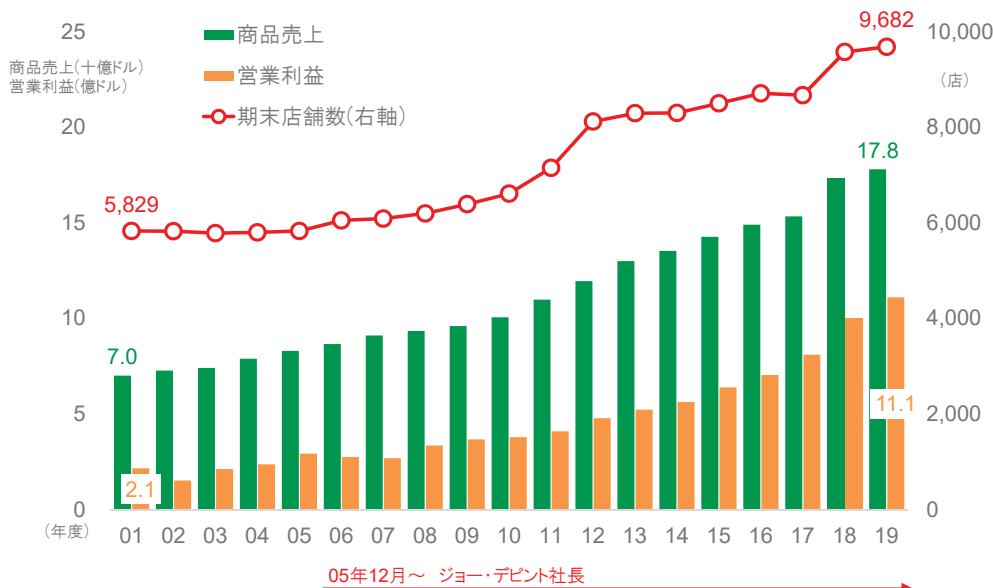
Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.



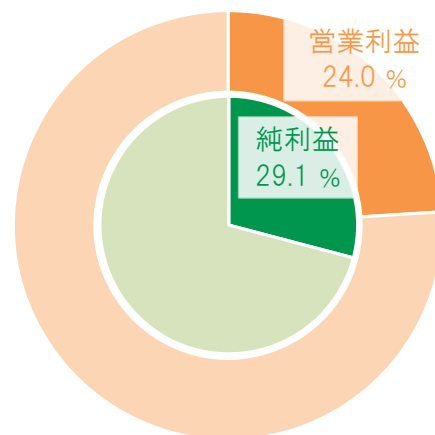
SEIの成長



商品売上・営業利益・店舗数推移



連結業績への貢献 (19年度実績)



純利益では連結合計の約30%を占めるまでに成長

*構成比はのれん償却後の円ベースにて算出

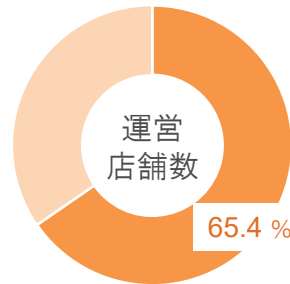
Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

米国コンビニエンスストア業界

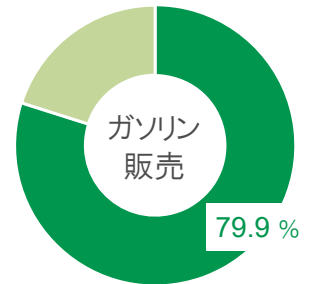


総店舗数(2019年12月末): 152,720店

チェーン名	店舗数	シェア(%)
1 7-Eleven, Inc.	9,046	5.9
2 Alimentation Couche-Tard Inc.	5,933	3.9
3 Speedway LLC	3,900	2.6
4 Casey's General Stores Inc.	2,181	1.4
5 EG America LLC	1,679	1.1
6 Murphy USA Inc.	1,489	1.0
7 GPM Investments LLC	1,272	0.8
8 BP America Inc.	1,017	0.7
9 ExtraMile Convenience Stores LLC	942	0.6
10 Wawa Inc.	880	0.6
上位10チェーン合計	28,339	18.6



10店舗以下チェーン
65%超



ガソリンスタンド併設
約80%

上位10チェーン
シェア20%未満

細分化された業界

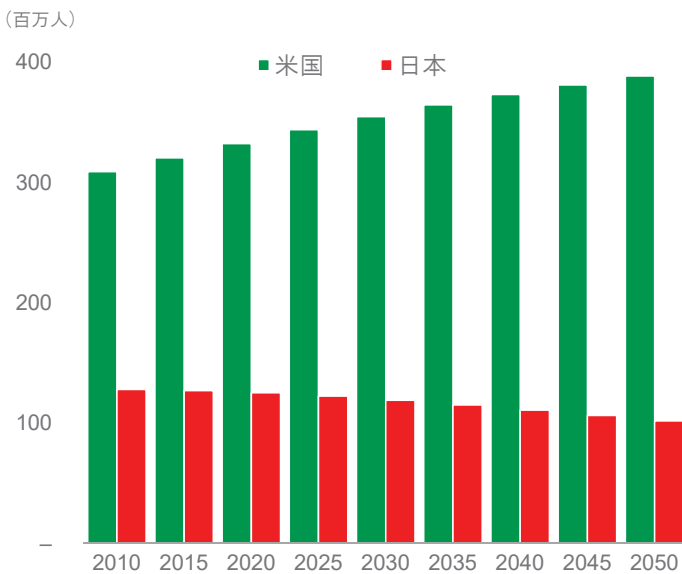
出所: NACS State of the Industry Compensation Report, CSP's TOP 202 Convenience Stores 2020、ただし7-Eleven, Inc.の店舗数は2019年12月末時点の開示数値

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

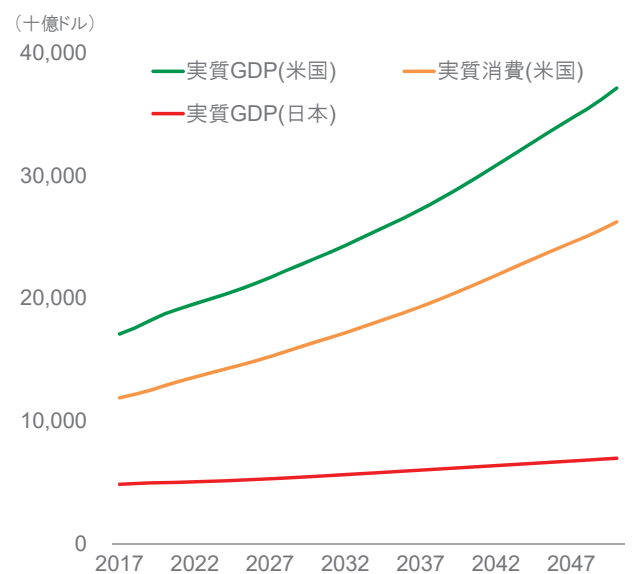
米国マクロ環境 (人口・GDP推移)



人口推移予測



GDP推移予測



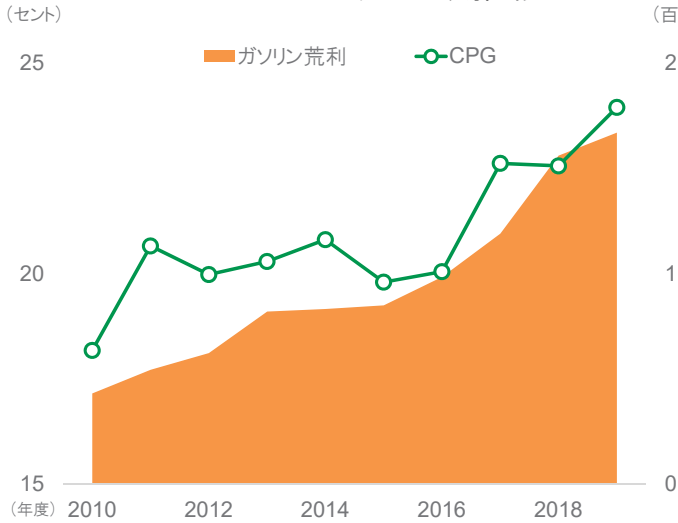
出所: OECD(経済協力開発機構)、アメリカ国勢調査局、国立社会保障・人口問題研究所

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

ガソリン①

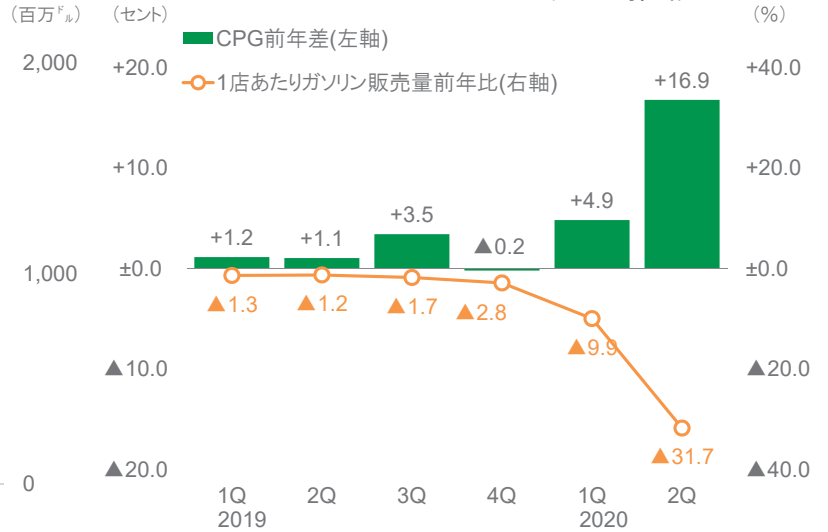


SEI:CPG・荒利額推移



ガソリンの収益性は継続的に伸長

SEI:CPG・ガソリン販売量推移

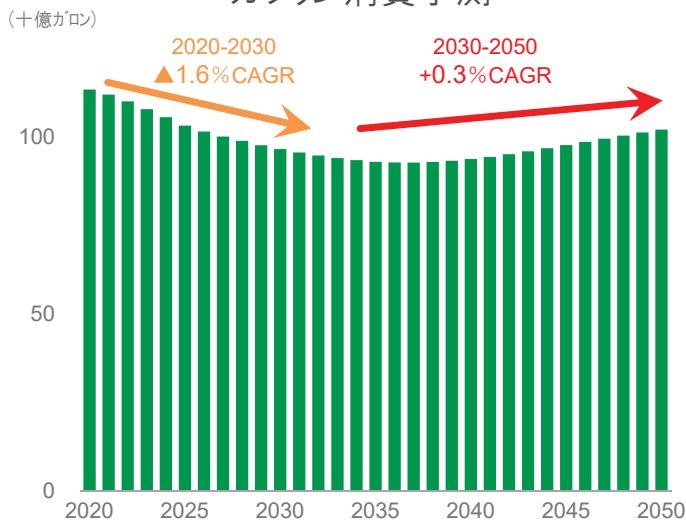


20年度2Q(4~6月)ガソリン荒利: +30%

ガソリン②

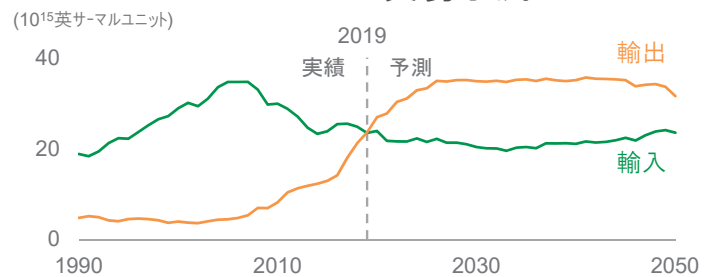


ガソリン消費予測

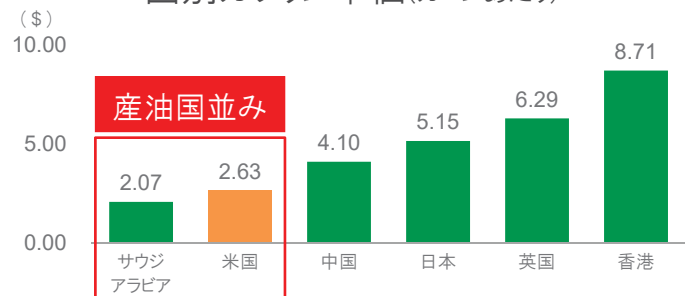


今後30年のCAGR: ▲0.4%と微減に留まる

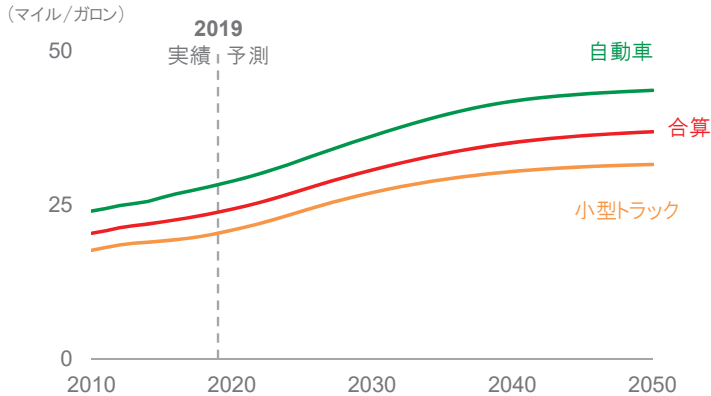
エネルギー貿易予測



国別ガソリン単価(ガロンあたり)

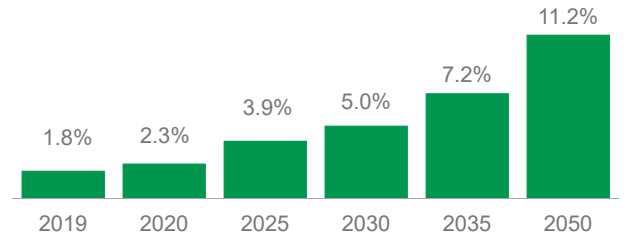


燃費の向上



EVの浸透

自動車全体に占める新車EVの販売台数比率



- ・ガソリン小売単価は低位安定
- ・ガソリン車の燃費は継続的に向上
- ・電気自動車の浸透は限定的

ガソリンビジネスは中期的に収益安定

出所: EIA(エネルギー情報局)

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

13

成長戦略と重点施策

シックス・ポイント・プラン

- 1 一貫した顧客体験の提供
- 2 新しい食体験の提案
- 3 サプライチェーンの最適化
- 4 デジタル戦略の推進
- 5 店舗の近代化
- 6 店舗網の拡大

フレッシュフード・専用飲料



- フレッシュフード売上: 20億ドル超
- 専用飲料の荒利率: 62%
- 新たな商品プラットフォームの店舗: 約1,500店(2020年度末)

プライベートブランド



- 年間売上10億ドル、+22% CAGRで伸長
- 高品質でお手頃価格
- 平均荒利率: 55%

デジタルトランスフォーメーション

ロイヤリティプログラム



- 登録会員数: 3,500万人
- 2020年度の新たな技術革新
モバイルチェックアウト、デジタルウォレット、ガソリンロイヤリティプログラム

デリバリー



- 1,100店以上、年度末までに1,650店超予定
- 販売量: +400%伸長(20年2月比)
- 客単価: 店頭の約2倍
- 配達時間: 業界最速の30分以内を実現

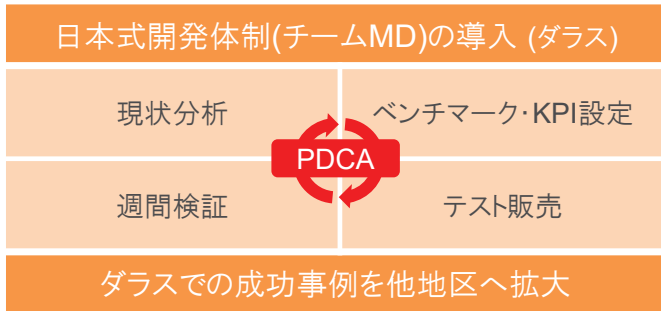
お客様ニーズにフォーカスを当てた戦略で商品売上を伸長、更なる成長を目指す

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

14

目指す姿 フレッシュフードを軸に「食」を目的に来店される、暮らしになくてはならない店

FF強化：わらべやUSAとの取組み



次世代型店舗：新たなプラットフォーム

カウンター 飲料	コールドプレスジュース、スムージー等
アルコール 飲料	クラフトビール、ワインセラー
インスタペーカリー	クロワッサン、クッキー
レストラン 併設	ラド・タコ
その他	モバイル・チェックアウト



Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

15

次世代型店舗のテスト拡大

COVID-19のマイナス影響が大きな地区での出店にもかかわらず、力強い数値結果

■ 新たなテスト店の6月度実績 ()内は地区平均比



Washington DC (4月開店)

商品平均日販	\$8,374(+76%)
客数	1,048(+41%)
フレッシュフード構成比	18%(+2%pt.)



New York City (4月開店)

商品平均日販	\$4,937(+44%)
客数	638(+40%)
フレッシュフード構成比	26%(+12%pt.)



San Diego (5月開店)

商品平均日販	\$6,758(+18%)
客数	780(+17%)
フレッシュフード構成比	19%(+11%pt.)

テスト店の出店を拡大するとともに、成功事例を標準化して既存店へ展開

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

16

TODAY'S

AGENDA



Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

17

ディールサマリー



取得価額	210億ドル ⇒ プロフォーマ120億ドル
取得先概要	店舗数: ~3,900店、営業利益:\$11億ドル、EBITDA:\$15億ドル
取得日(予定)	2021年度第1四半期
セール・リースバック	約50億ドルのセール・リースバックを予定
節税効果	約30億ドル(取得後15事業年度まで)
シナジー	4.75~5.75億ドル(取得後3事業年度まで)
EBITDA倍率	シナジー前:13.7倍 ⇒ シナジー後:7.1倍
ガソリン供給契約	Marathon Petroleum社との今後15年間にわたるガソリン供給契約
EPS押し上げ効果	7&iHD連結EPSを約50円押し上げ見込み(取得後4事業年度)

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

18

Speedway概要



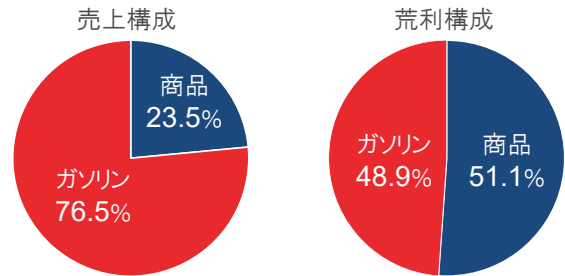
主にSpeedwayブランドにて店舗展開をしている
全米NO.3のコンビニチェーン

- 36州で約3,900店を運営
 - 質の高い店舗施設と優れた店舗運営
 - 100% ガソリンスタンド併設店 (大型給油施設)
 - 高いガソリンブランドロイヤリティ (店あたり販売量:SEIの1.5倍)
 - 70%超の店舗不動産を所有
 - すべて直営店
- Speedy Rewards(ロイヤリティプログラム)会員数 600万人超

店舗数 ~3,900店	ガソリン販売店 比率 100%	ロイヤリティプログラム 会員数 600万人超
2019年度 商品売上 \$6.3B	2019年度 ガソリン販売量 7.7B ^{ガロ}	2019年度 EBITDA \$1.5B



Source: Speedway internal financials, excludes direct dealer business.

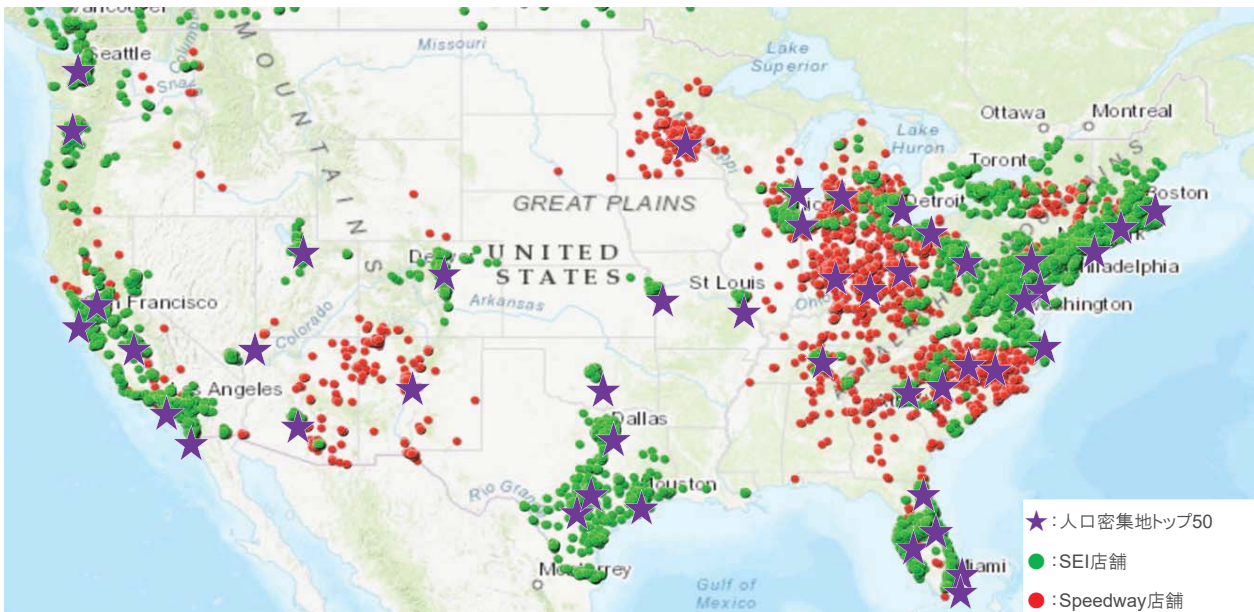


Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

補完関係



統合後の店舗網: 米国における人口密集地トップ50のうち47の市場でのプレゼンスを獲得



Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

プロフォーマ ~プレシナジー~

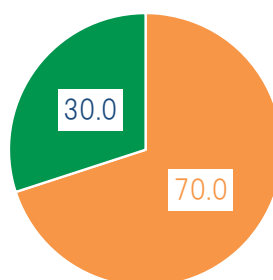
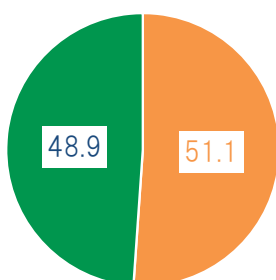
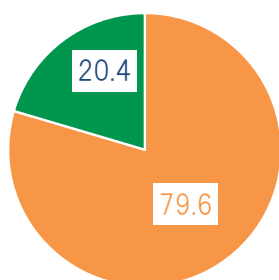


2019年度実績

	7-Eleven, Inc.	Speedway	Pro forma	伸び率
商品売上	\$17.8B	\$6.3B	\$24.1B	+35%
ガソリン売上	\$18.3B	\$20.5B	\$38.8B	+112%
総売上	\$36.1B	\$26.8B	\$62.9B	+74%
営業利益	\$1.1B	\$1.1B	\$2.2B	+100%
EBITDA	\$1.8B	\$1.5B	\$3.3B	+78%

荒利構成比(%)

■ 商品
■ ガソリン



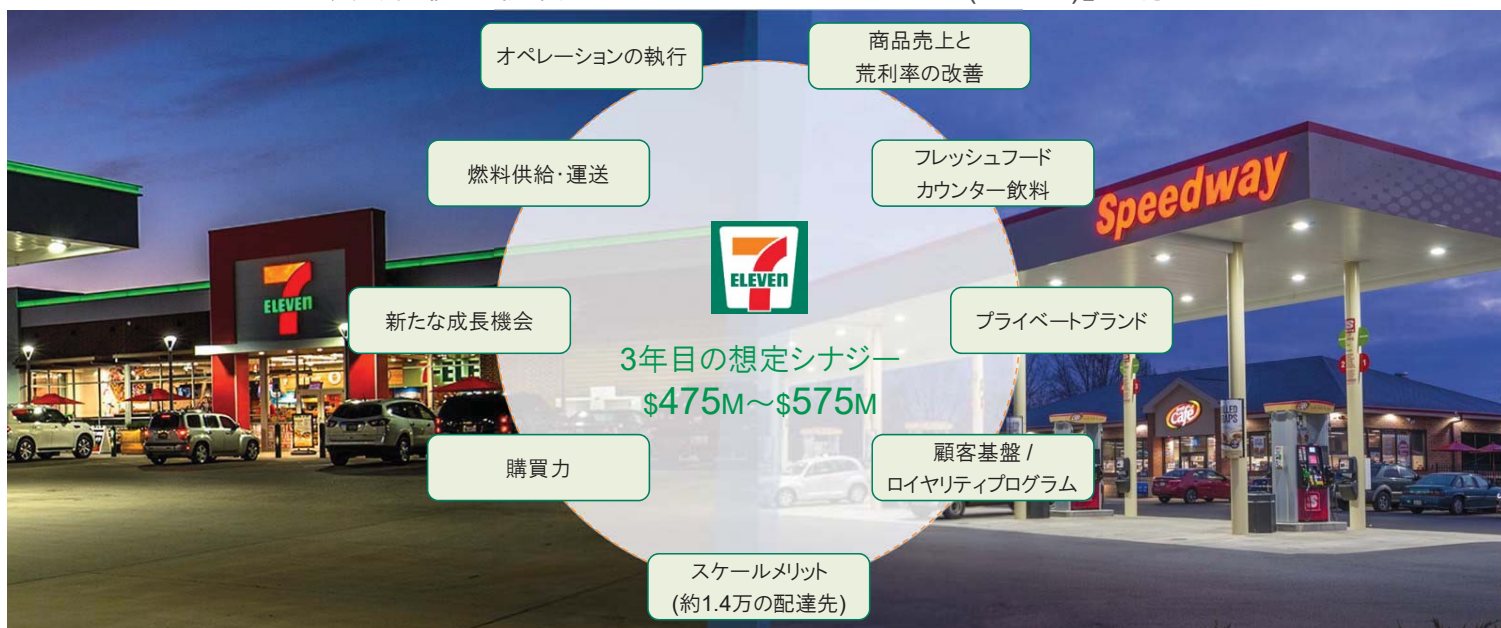
Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

21

大いなるシナジーのポテンシャル



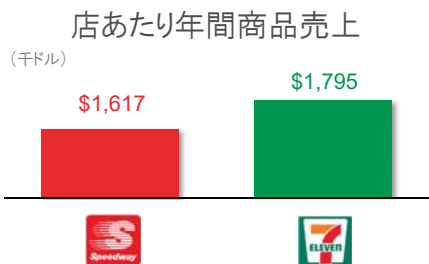
SEIは、買収後の統合を成功させる「プレイブック(戦略本)」を有している



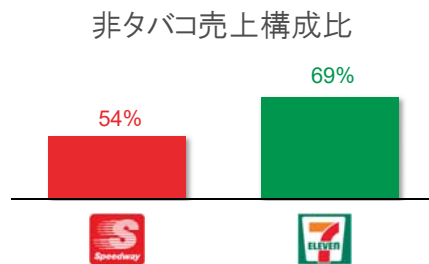
Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

22

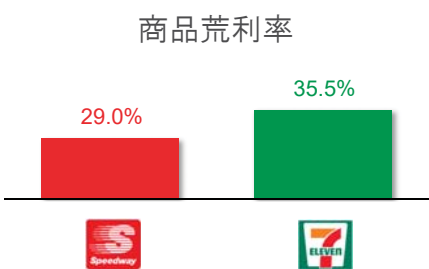
大いなるシナジーの機会 ~商品~



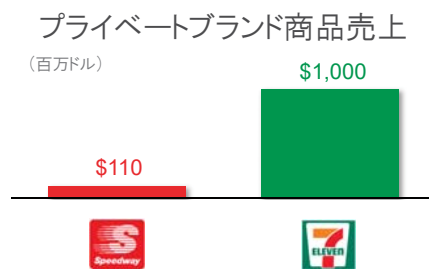
品揃えとカテゴリーの改善による商品売上の伸長



高荒利カテゴリーの構成比増による荒利改善



店舗数増に伴う購買力向上による荒利率改善



高荒利PB商品をSpeedway店舗へ展開し、売上伸長

※19年度実績、SEIの数値は米国既存店の実績

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

M&Aトラックレコード



2006年度以降、3,362 店を取得



	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	合計
M&A案件数	2	-	3	2	2	4	10	4	-	4	4	-	1	3	3	42
取得店舗数*	213	-	43	71	30	394	702	127	-	285	258	-	1,030	58	151	3,362
ガソリンスタンド併設店比率(%)	4.2	0.0	100	18.3	100	57.1	61.0	52.8	0.0	41.8	100	0.0	98.1	74.1	98.0	71.2

* 土地の取得等、すべての取引を含む

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

シナジー ～過去のM&A実績～



過去のM&A実績 (2006年～2018年の36案件)



買収事業の足元の業績(19年12月LTM)

EBITDA	\$697M (39.7%)
営業利益	\$519M (46.5%)
平均日販増加額	+\$1,141 (+33.2%)
ROIC	9.6%

「ビッグ・オイル」の買収実績(19年12月LTM)

(4案件の平均)	平均日販伸び率	荒利率改善	ROIC
Exxon Mobil FL	+44.4%	461 bps	14.2%
Exxon Mobil DFW			
Tetco Retail			
CST Retail			

()内の数値は買収前比

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

25

シナジー ～Sunoco実績～



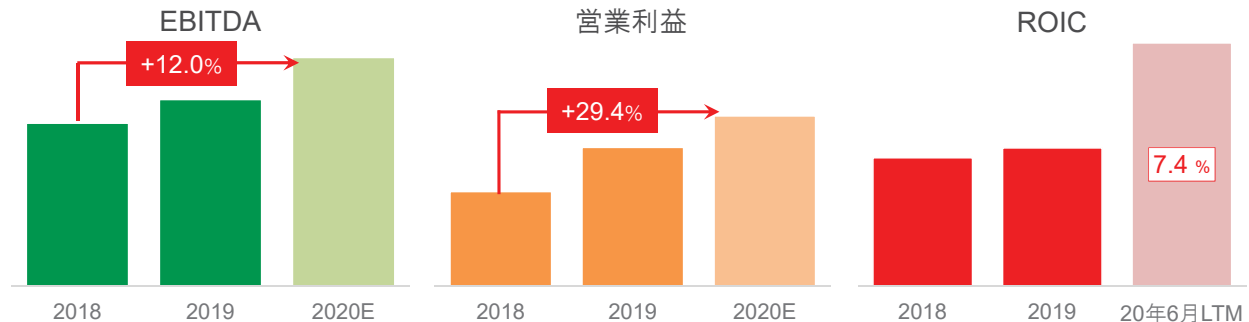
取引概要

取得価額	31.1億ドル
取得日	2018年1月23日
取得店舗数	1,030店

営業数値

	FY2018	FY2019	差
商品平均日販	4,926 ^{ドル}	4,975 ^{ドル}	+49 ^{ドル}
商品荒利率	32.9%	34.4%	+1.5%
ガソリン販売量	5,009 ^{ガロ}	4,864 ^{ガロ}	▲145 ^{ガロ}

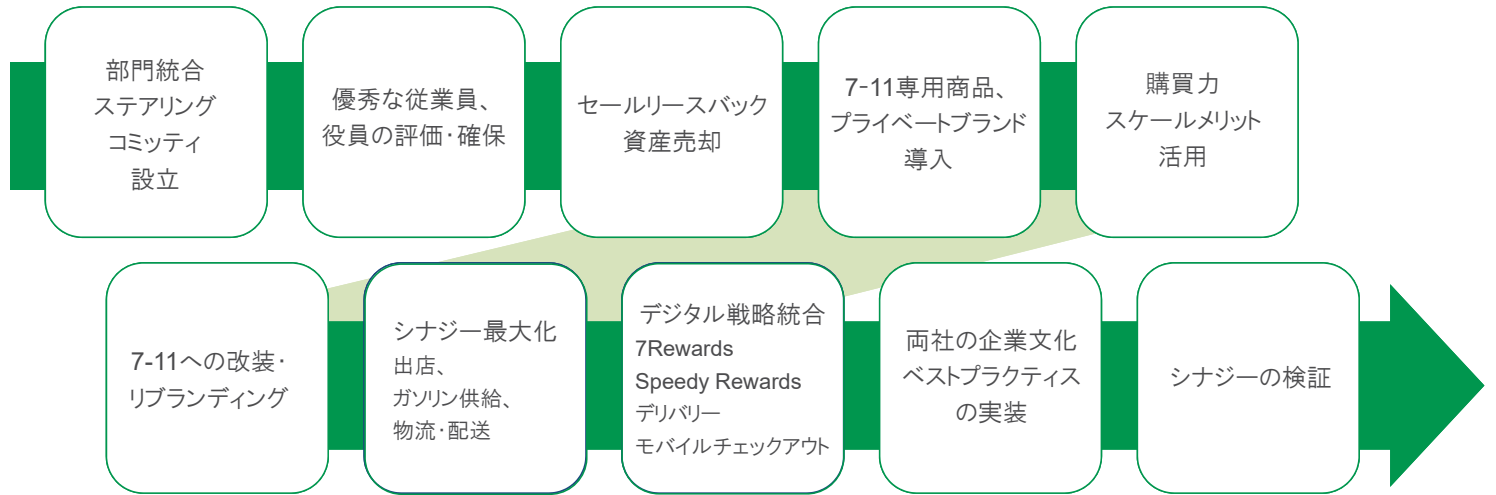
財務数値



Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

26

効果的な統合フレームワーク



体系的で統制のとれた統合プログラムにより、両社へのシナジーを最大限に引き出す

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

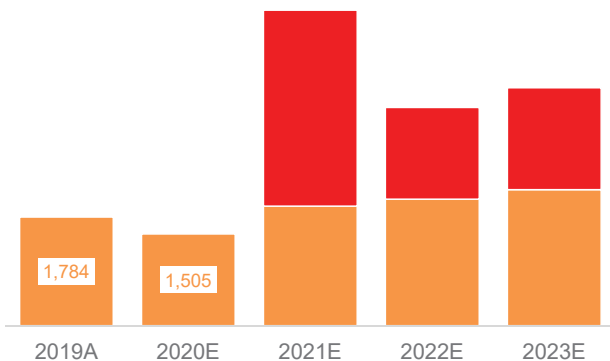
27

プロフォーマ ~ポストシナジー~



EBITDA (百万ドル)

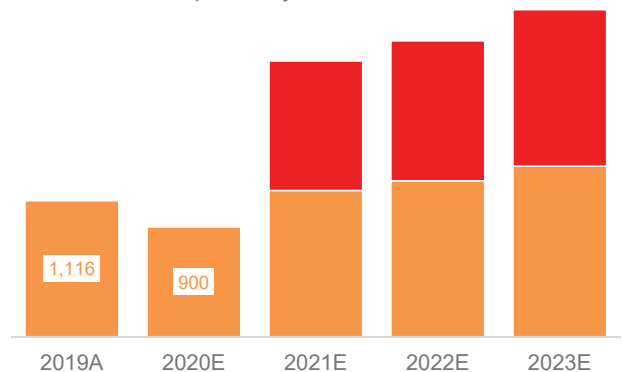
SEI Speedway



取得後3年CAGR: +15%超

営業利益 (百万ドル)

SEI Speedway



取得後3年CAGR: +15%超

Speedway取得によりEBITDA・営業利益ともに19年度の2倍以上に伸長

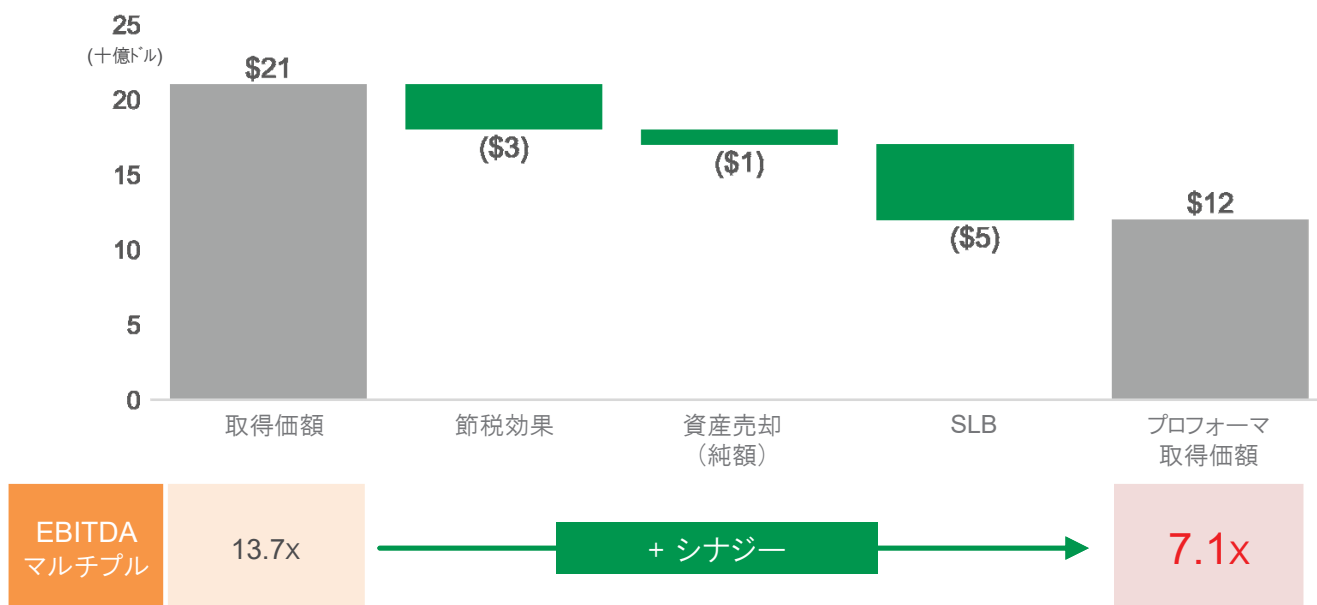
* 2021年度期初に取得完了と仮定し試算
* 2021年度はセール・リースバックによる売却益を想定

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

28

調整後取得価額とマルチプル

税制上の優遇措置、資産の売却、セール・リースバック(SLB)で取得価額を引き下げ



Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

ファイナンス・プラン

資金調達 (十億ドル)	ブリッジローンの返済 (十億ドル)
ブリッジローン 13	私募債・銀行ローン 8
7&iHDからの増資 8	セール・リースバック 5
合計 21	合計 13

7&iHDからの増資 (十億ドル)	SEI: Debt/EBITDA倍率
社債・銀行ローン 8	Speedway取得後2年で3倍以下まで低減

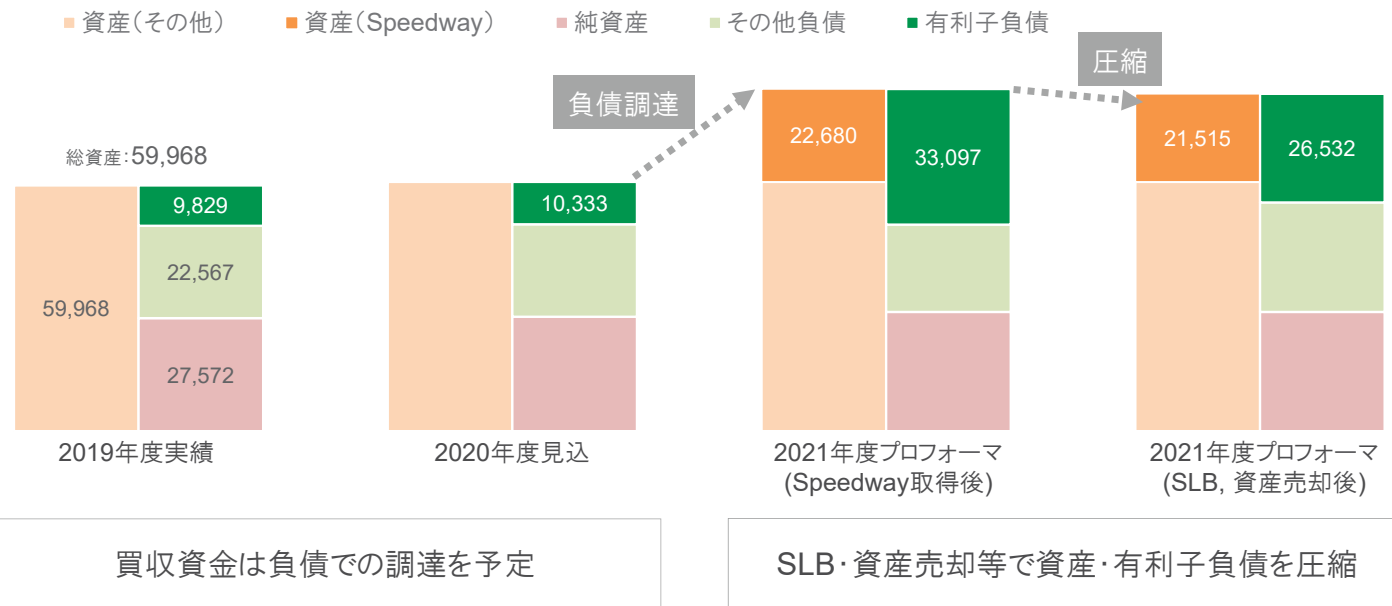
エクイティ・ファイナンスは予定せず	収益向上で更なる低減を目指す
-------------------	----------------

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

7&iHD連結へのインパクト (BS)



Speedway取得によるBSの変化(イメージ) 単位:億円



* 為替レート: \$1=¥108.00

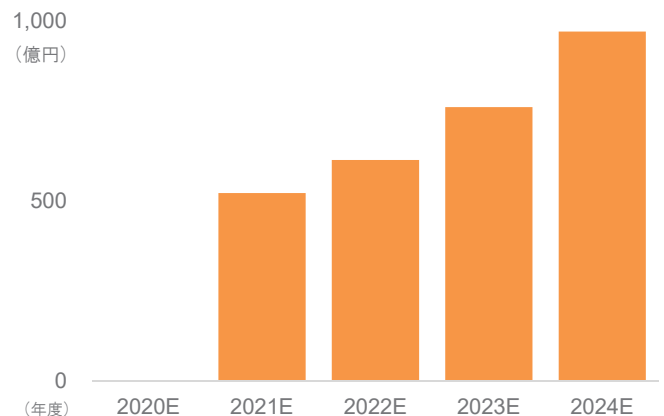
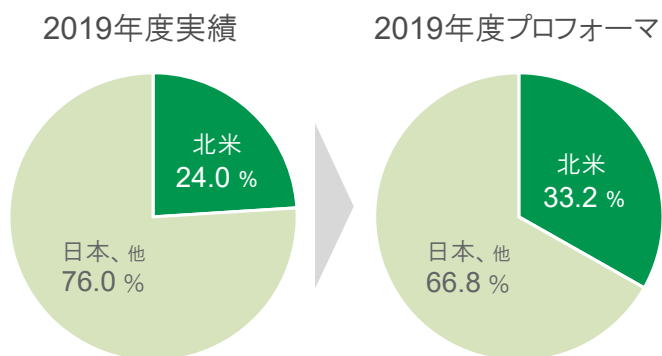
Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

7&iHD連結へのインパクト (PL)



連結営業利益に占める北米事業の割合

連結営業利益押上効果



*構成比はのれん償却後の円ベースにて試算

*為替レート \$1=¥108.00にて試算

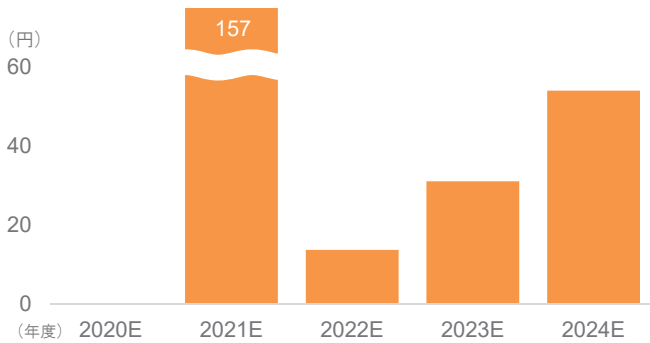
*2021年度期初に取得完了と仮定し試算

Speedway取得により北米CVS事業がグループの成長を今まで以上に牽引

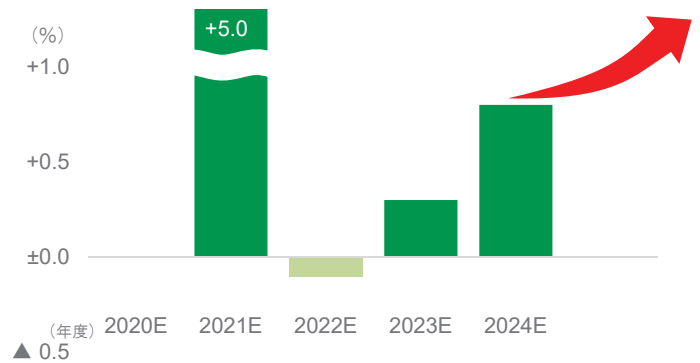
7&iHD連結へのインパクト (PL)



連結EPS押し効果



連結ROE押し効果



連結EPS 5年CAGR: +8.6%を見込む

取得4年目で+0.8%pt.の押しを見込む

真のグローバル・リテ일러として、企業価値と社会価値の両立を目指す

* 2021年度期初に取得完了と仮定し試算
* 2021年度はセール・リソースバックによる売却益を想定



TODAY'S

AGENDA

1 7-Eleven, Inc.の成長機会

2 Speedway取得

3 ESG対応

SEIの取組み ~Speedway取得の意義~



SEIとSpeedwayはESGに関する哲学が類似 ⇒ 取得理由の1つ

■両社の主な取組み

SEI	Speedway (Marathon Petroleum)
2018年 18.2%のCO2排出量削減 (2015年比) ・植樹10万本超⇒21.7万トン(炭素換算)の排出量相殺 ・太陽光発電設備設置店舗:400店(2021年度まで) ・風力発電による電力使用店舗:850店(2018年) ・LED照明100%使用店舗:70%、25%は一部使用 ・EV充電ステーション:11店舗でテスト	2018年 10.3%のGHG*排出量削減 (2015年比) ・省エネ照明設備導入店舗:約4,000店 ・2007年以降、5億ドルのエネルギーコスト削減 (2018年は5,700万ドル削減) *温室効果ガス

Speedway取得によるスケールメリットを活用し、ESGの取組みを加速する絶好の機会

出所: Marathon Petroleum Corporation 2018 Sustainability Report

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

35

SEIの取組み ~新たな目標設定~



Speedway取得により、2027年までの新たなESG目標を設定

現状の2027年目標	Speedwayを加えた新たな2027年目標
・CO2排出量 20%削減 (2015年比)	・CO2排出量 40%削減 (2015年比) 250ヶ所のEV充電拠点 店舗あたりの非炭素燃料(カーボンニュートラル)比率25%
・PB商品の容器・包装において 100%環境配慮型パッケージを実現	・SpeedwayのPB商品も100%環境配慮型パッケージ採用 ・持続可能な食品・飲料の調達 ・プラスチック使用量の削減推進

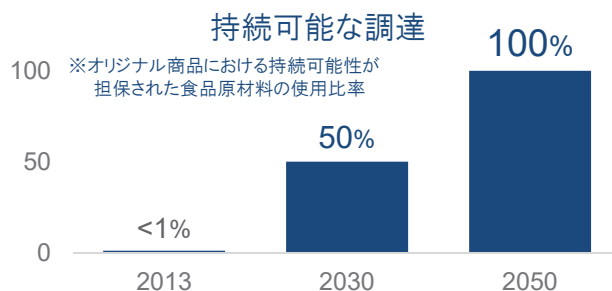
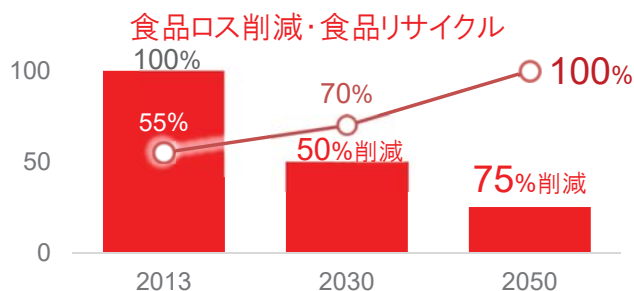
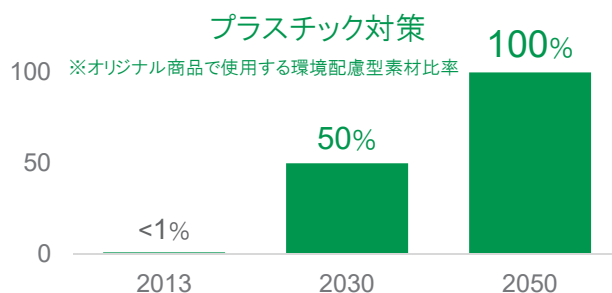
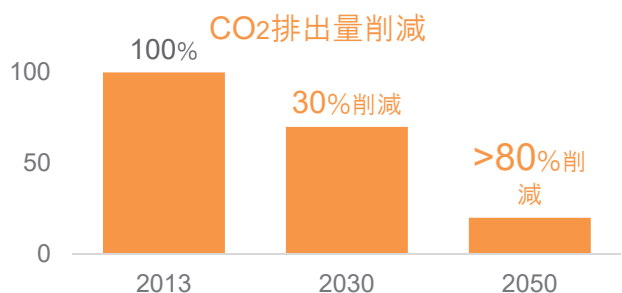
Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

36

7&iグループの取組み GREEN CHALLENGE 2050



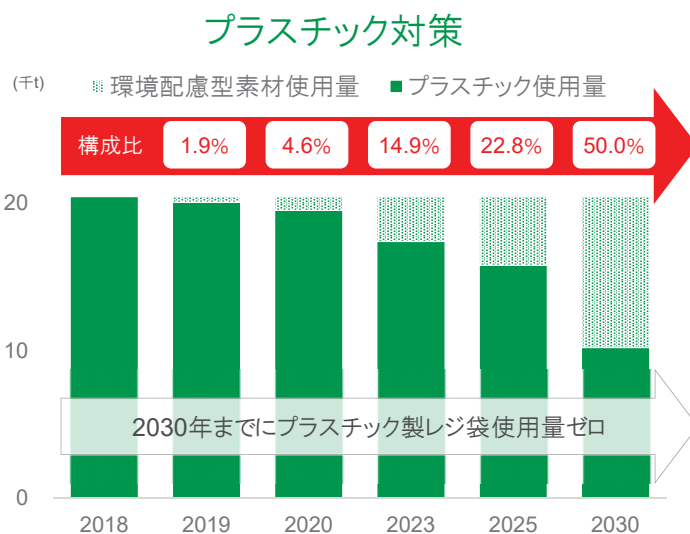
19年5月、4つの目標を定めた「GREEN CHALLENGE 2050」を発表



※発生原単位(売上百万円あたりの食品廃棄物発生量)

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.

GREEN CHALLENGE 2050 進捗



2030年目標達成に向け順調な進捗 ⇒ 2050年目標へ更なる推進

Copyright (C) 2020 Seven & i Holdings Co., Ltd. All Rights Reserved.



EVチャージャー

風力発電

蓄電池

太陽光パネル

環境投資の割合 (2019年度実績と2024年度目標)



総投資額*の5%以上を環境投資に振り向け、持続可能な社会づくりに貢献し続ける

*戦略投資は除く

海外ライセンサーとの協働



2019年3月のライセンサーサミットにて、海外ライセンサーとパートナーシップ締結
SDGs達成に向けた共同宣言を採択 ⇒ グローバルでの取組みを推進



暮らしとともに ― セブン&アイグループ



当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する事項が含まれる場合があります。
この事項については、開示時点において当社が入手している情報による経営陣の判断に基づくほか、将来の予測を行うために一定の前提を用いており、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。
したがって、現実の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の様々な要因により、開示情報に含まれる将来の見通しとは異なる可能性があります。